

富山県ものづくり産業未来戦略 改定(案)の概要

令和6年2月

富山県

これまでの検討の経過

○8/10 第1回検討会議 見直しの方向性を議論

○8月～11月 検討会議でいただいた意見を踏まえ、具体案を検討

- ・若手経営者や実務を担う責任者による作業部会:
- ・企業アンケート・ヒアリング調査:ものづくり企業が抱える様々な課題や要望を把握

○12/25 第2回検討会議 改定骨子(案)の検討

- ・新たな環境・社会価値の創出などの戦略の方向性について、概ね了承いただいた。



具体的な取り組みや目標の設定などについて検討

○2/13 第3回検討会議

議題:戦略改定案について

- ・戦略実現のための具体的取組み
- ・目標(指標)

などについて、本日ご意見をいただいた上で必要な修正を行い、今後の本県ものづくり産業振興の指針とする。

※今後のスケジュール

| | |
|------|---------------------------|
| 2月下旬 | パブリックコメント |
| 3月下旬 | 戦略改定 |
| // ~ | 関係機関への説明(地震復興対応及び新年度予算含め) |

「富山県ものづくり産業未来戦略（改定版）」の全体構成

第1章 本戦略の位置づけ

○本戦略策定の趣旨

カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー（循環経済）の構築といった、新たな環境・社会価値の創出が求められる中、本県のものづくり企業が、こうした新たな価値創出に向けて積極的な投資を行い、その効果を県全体に波及させながら、持続的な成長を実現することが、本県の経済発展の原動力となることから、国のGX投資に関する施策動向や、サーキュラーエコノミー関連市場の成長も見据え、これまでの戦略の取組みを見直すもの。

○計画期間

2024（令和6）年度から2030（令和12）年度まで

○計画の実行性の確保

PDCAサイクルによるマネジメントを実施

第2章 ものづくり産業を取り巻く環境と本県ものづくり産業の強み

1 ものづくり産業を取り巻く環境

- 新型コロナウイルス感染症や国際情勢の急激な流動化など世界経済の不確実性の高まり
- 既存のサプライチェーン強靱化の動き、エネルギー価格をはじめとする物価高騰に伴う生産コストの削減や価格転嫁といったコスト負担の在り方に係る課題に直面
- カーボンニュートラルをはじめとする気候変動や人権問題を含む社会のサステナビリティへの対応の要請
- GX、DXの加速化に向けた支援及び競争力の源泉となる「人への投資」重点化の動き
- 生産年齢人口の減少、人手不足感の高まり、デジタル人材など求められる人材の多様化
- ウェルビーイングが重視され、働く方々がエンゲージメントを感じられる組織づくりが必要
- アジア経済の発展と成熟化

2 本県ものづくり産業の強み

- 高度な素材分野の技術や産業集積
- 医薬品生産金額全国トップクラスの生産拠点
- 独自の技術・技能をもつ企業が多い
- 設備が充実した県立試験研究機関、全国唯一のデザイン専門の総合デザインセンター
富山県立大学のDX教育研究センターや富山大学先進アルミニウム国際研究センターなど
学術研究の拠点の充実

第3章 総論

1 ものづくり産業を取り巻く環境に対する対応

- ものづくり企業がサーキュラーエコノミー（循環経済）の確立やGXなど環境・社会課題の解決に向けた成長分野で、企業間や産学官の異業種の連携により、新たな付加価値を創造
- 人「財」ともいえる従業員のエンゲージメント向上をはじめ、ものづくりに関わる人材の育成・確保によりイノベーションを生み出し、適正な取引価格のもとで国内外の販路の開拓

2 本県ものづくり産業の目指すべき将来像

各企業が環境・社会に関する課題の解決に向け積極的に投資し、長期的かつ持続的な成長原資（稼ぐ力）を生み出し、新たな価値を創出していく。それによって、企業の魅力が向上し、投資や人材を呼び込み、それが更なる成長につながる好循環を実現する。

第4章 本戦略推進にあたって必要となる取組みの概要

1 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による新たな付加価値の創出

○産学官連携による成長産業分野への技術開発の支援

これまでの7つの成長産業分野（①医薬・バイオ、②医薬工連携、③航空機、④次世代自動車、⑤ロボット、⑥環境・エネルギー⑦ヘルスケア）の取組みを、政府の戦略や投資重点化の最新の動向を踏まえて、4分野に分類。

| 本戦略における成長産業分野 | 関連産業 |
|---------------|---------------------------------------|
| ①グリーン | 再エネ、水素・アンモニア、蓄電池、カーボンリサイクル・マテリアル、資源循環 |
| ②モビリティ | 次世代自動車、航空宇宙 |
| ③デジタル技術基盤 | 半導体、ロボット、電気電子、デジタルインフラ |
| ④医薬・バイオ・ヘルスケア | 医療・介護、医薬、ヘルスケア |

○ものづくり産業における富山モデルの創出

○「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムや、とやまアルミコンソーシアム、とやまヘルスケアコンソーシアムのオープンイノベーションによる研究開発プロジェクトの深化

○スタートアップ支援

○大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化

2 ものづくりを担う人材の育成・確保

○ものづくり産業の経営者・従業者のウェルビーイングの向上

○デジタル・バイオ等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保

○リスキリング支援などを通じた職業能力開発の充実

○女性活躍の推進

○外国人材の活用や多様な人材の確保・活躍の推進

○就職期の若者等へのアプローチの強化

○中高生及び大学生のものづくりの職場体験等の機会充実

3 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援

○成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致

○販路開拓、ものづくり技術の発信

○県内企業のグローバルなビジネス展開や販路開拓の支援

○物流の効率性への支援と安定性の確保

4 中小・小規模企業に対する総合的支援

○中小・小規模企業のDX、GX支援

○適切な価格転嫁の実現に向けた支援

○技術等のある企業の事業承継支援

○防災・減災対策のための事業継続支援

○県と（公財）富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

「富山県ものづくり産業未来戦略」（改定前の戦略との施策の比較）

【改定前の施策】

1 とやま成長産業創造プロジェクトの推進

- (1) 医薬・バイオ (2) 医薬工連携
- (3) 次世代自動車 (4) 航空機産業
- (5) ロボット (6) 環境・エネルギー
- (7) ヘルスケア

2 分野横断的なイノベーション手法による新たな付加価値や新事業の創出

- (1) オープンイノベーションの推進
 - ① 大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化
 - ② 新たなプロジェクト(ヘルスケア産業)の推進
- (2) コネクティッド富山の推進
- (3) デザインによる高付加価値化
- (4) とやまイノベーション推進会議の設置運営

3 ものづくり人材の育成・確保

- (1) IoT等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保
- (2) リカレント教育、職業能力開発の充実
- (3) 移住・UIターン、Tターンの促進
- (4) 女性・高齢者など多様な人材の活躍促進
- (5) グローバル人材の活躍

4 北陸新幹線等を活かした成長産業の集積を促す企業誘致、県内企業の販路開拓

- (1) 成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致
- (2) 販路開拓、ものづくり技術の発信

5 アジア等の海外展開への支援

6 中小・小規模企業に対する総合的支援

- (1) IoT等の導入支援
- (2) 技術等のある企業の事業承継支援
- (3) 創業・ベンチャー支援
- (4) 県と(公財)富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

【改定後の施策】

1 企業間・産学官連携(オープンイノベーション)の推進による新たな付加価値の創出

- (1) 産学官連携による成長産業分野への技術開発の支援
 - ① グリーン ② モビリティ ③ デジタル技術基盤 ④ 医薬・バイオ・ヘルスケア
- (2) ものづくり産業における富山モデルの創出
- (3) 「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムやとやまアルミコンソーシアム、とやまヘルスコンソーシアムのオープンイノベーションによる研究開発プロジェクトの深化
- (4) スタートアップ支援
- (5) 大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化

主なポイント

・産学官連携での成長産業分野における付加価値創出を重点的に支援
 ・新たな成長分野として市場拡大が見込まれるサーキュラーエコノミーの推進

2 ものづくりを担う人材の育成・確保

- (1) ものづくり産業の経営者・従業員のウェルビーイングの向上
- (2) デジタル・バイオ等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保
- (3) リスキング支援などを通じた職業能力開発の充実
- (4) 女性活躍の推進
- (5) 外国人材の活用や多様な人材の確保・活躍の推進
- (6) 就職期の若者等へのアプローチの強化
- (7) 中高生及び大学生のものづくり職場体験等の機会充実

・働く方々のエンゲージメント向上、デジタル・バイオ等高度技術人材の育成・確保

3 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等への支援

- (1) 成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致
- (2) 販路開拓、ものづくり技術の発信
- (3) 県内企業のグローバルなビジネス展開や販路開拓の支援
- (4) 物流の効率性への支援と安定性の確保

・グリーン、バイオ、半導体を重点としたトップセールスによる企業誘致の推進

4 中小・小規模企業における総合的支援

- (1) 中小・小規模企業のDX、GX支援
- (2) 適切な価格転嫁の実現に向けた支援
- (3) 技術等のある企業の事業承継支援
- (4) 防災・減災対策のための事業継続支援
- (5) 県と(公財)富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援

・DX、GXの推進、新たな項目に「防災・減災対策のための事業継続支援」

本戦略の位置づけ

1. 趣旨

- ・本戦略の計画期間(H31.3～)は本年が最終年度となるが、この間、新型コロナウイルス感染症の流行や国際情勢の流動化によるサプライチェーン強化の動き、2050年までのカーボンニュートラルの実現目標、生産年齢人口の減少など、ものづくり産業を取り巻く環境が大きく変化している。
- ・**カーボンニュートラル**や**サーキュラーエコノミー(循環経済)**の構築といった、**新たな環境・社会価値の創出**が求められる中、本県のものづくり企業が、こうした新たな価値創出**に向けて積極的な投資を行い**、その効果を県全体に波及させながら、**持続的な成長を実現する**ことが、本県の経済発展の原動力となることから、国のGX投資に関する施策動向や、サーキュラーエコノミー関連市場の成長も見据え、これまでの戦略の取組みを見直すもの。

※新たな環境・社会価値の創出のため投資の例

- ・GX投資:産業革命以来の化石エネルギー中心の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する「GX」があげられる。国が先行して20兆円規模、今後10年間で150兆円超の官民投資が実現される見込み。
- ・サーキュラーエコノミー関連市場 2020年:50兆円 → 2030年:80兆円 (出典:経済産業省資料等)

2. 計画期間

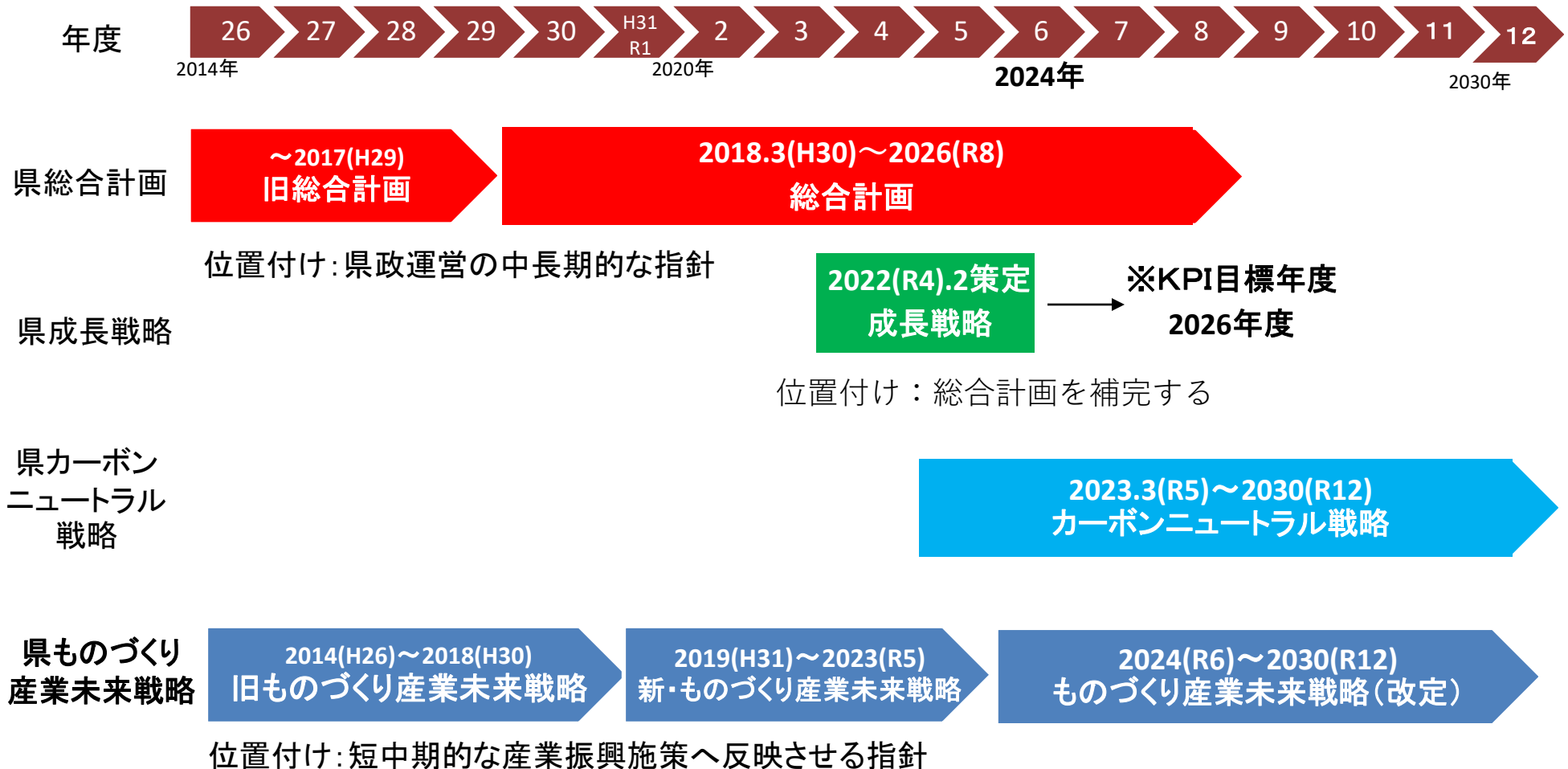
2024(令和6)年度から**2030(令和12)年度**まで

※SDGsの目標年次や富山県カーボンニュートラル戦略の期間を参照

※ただし、ものづくり技術の動向や環境の変化を踏まえ柔軟に見直しを検討

ものづくり産業未来戦略と総合計画、各種戦略の計画期間について

改定戦略では富山県成長戦略の考え方を反映するとともに、方向性を一にする県カーボンニュートラル戦略が2030年度の産業分野の温室効果ガス排出量半減(2013年度比)を目標として掲げていることや、2030年までの国際目標であるSDGsの達成に向けて、本県の第2期SDGs未来都市計画でも取組みを進めていることを踏まえて計画期間を設定。



1 ものづくり産業を取り巻く環境に対する対応

本県の強みであるアルミなどの素材分野の技術や産業集積を活かしながら、**サーキュラーエコノミー**（循環経済）の確立や**GX**など**環境・社会課題**の解決に向けた成長分野で、企業間や産学官異業種の連携により付加価値を生み出していくことが重要である。

また、人「財」ともいえる**従業員のエンゲージメント**向上をはじめ、あらゆる手段をもってものづくりに関わる人材を育成・確保することによりイノベーションを生みだし、適正な取引価格のもとで国内外に販路を切り拓いていくことが必要。

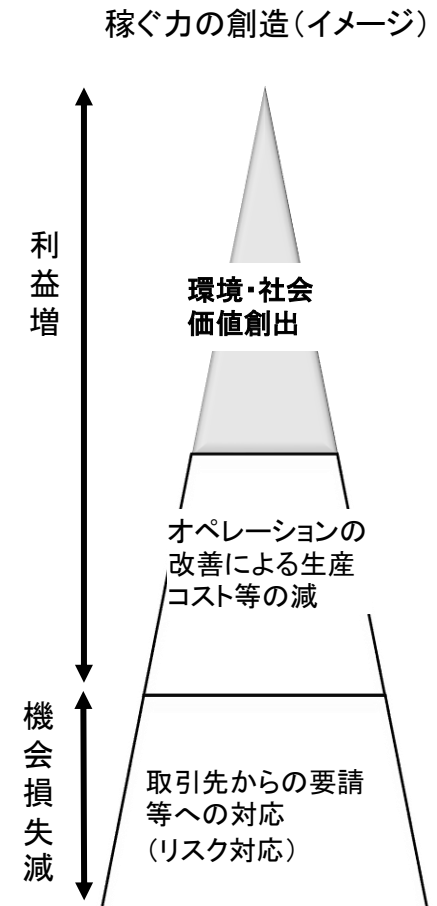
2 本県のものづくり産業の目指すべき将来像

各企業が環境・社会に関する課題の解決に向け積極的に投資し、長期的かつ持続的な成長原資（稼ぐ力）を生み出し、新たな価値を創出していく。

それによって、**企業の魅力が向上**し、投資や人材を呼び込み、それが更なる成長につながる**好循環**を実現する。

3 必要な施策の方向性

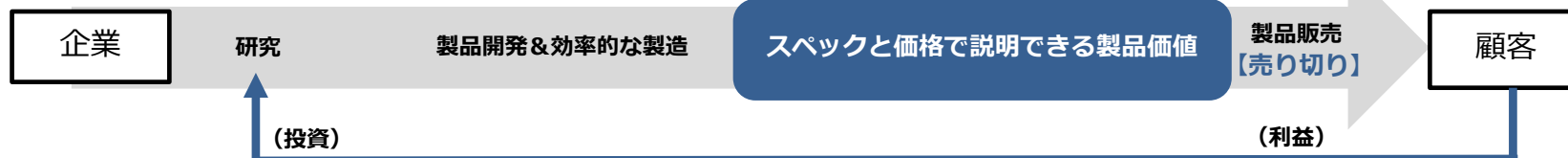
- 企業間・産学官連携（オープンイノベーション）の推進による**新たな付加価値**の創出
- ものづくりを担う**人材の育成・確保**
- 産業集積を活かした成長産業の**企業誘致**、アジア等への**海外展開等**への支援
- 中小・小規模企業**に対する**総合的支援**



本県のものづくり産業の目指すべき将来像の実現（イメージ）

これまでの価値循環

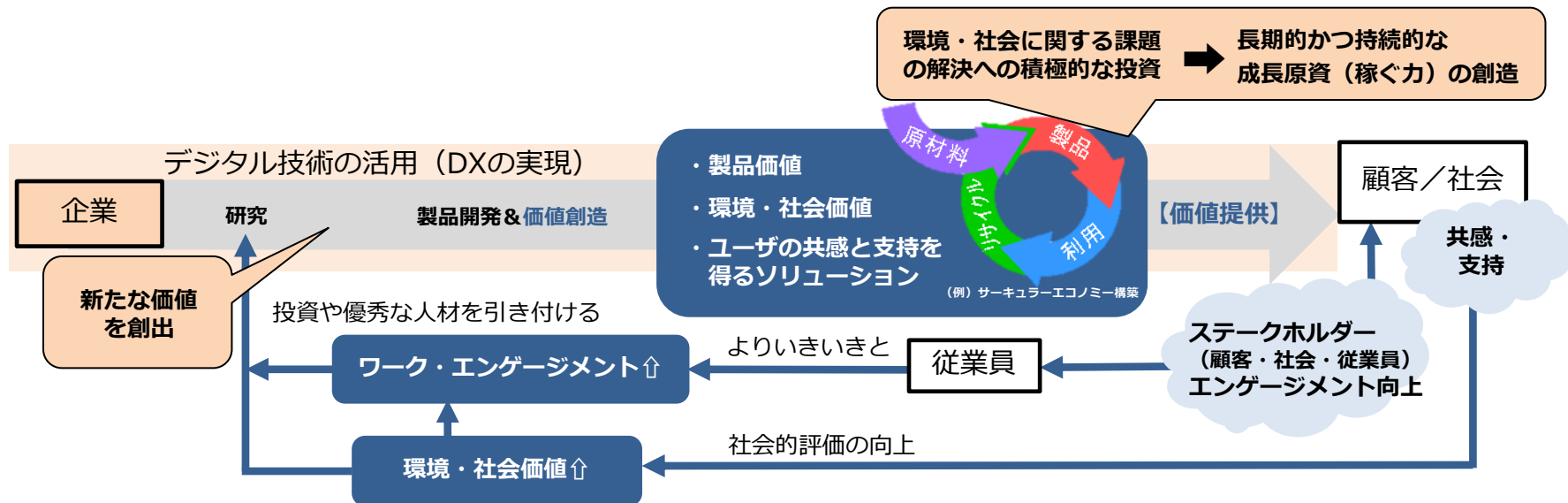
- ・企業は製品を顧客に**売り切り**の形で販売する。顧客に提供される価値は「**スペックと価格で説明できる製品価値**」。



新たな価値循環

- ・ステークホルダー（顧客・社会・従業員）から求められる価値

製品価値のみならず、環境・社会に関する課題の解決に資する「**環境・社会価値**」や「**ユーザの共感と支持を得るソリューション**」など抽象的なものへと変化している。



改定の主なポイント

1. 「企業間・産学官連携(オープンイノベーション)の推進による新たな付加価値の創出」

① 産学官連携による成長産業分野への技術開発支援・・・本文P28

・環境・社会課題の解決の可能性を秘め、将来にわたって**成長が見込まれる4分野の技術開発を重点支援**します。

(支援例)

- (1) **グリーン** : サークュラーエコノミーに係る技術の高度化に寄与する研究開発
- (2) **モビリティ**: アーバン・エアモビリティにおける技術革新、衛星データの利活用
- (3) **デジタル技術基盤**: データセンター等のデジタルインフラ市場への参入に向けた技術開発
- (4) **医薬・バイオ・ヘルスケア**: DXやAI技術を活用した医療・福祉機器の製品開発



エアモビリティ
(例: ドローン)

② ものづくり産業における富山モデルの創出・・・本文P30

・**サーキュラーエコノミーなどの分野**で新世紀産業機構、総合デザインセンター、産業技術研究開発センターといった関係機関が連携・協力し、クリエイティブ人材の活用による企業間連携と異業種交流などにより、**新たな価値を創造する富山モデルの創出を目指します。**



※廃材の活用等「サーキュラーエコノミー(循環経済)」の実現には多様な主体の連携が欠かせない。

改定の主なポイント

1. 「企業間・産学官連携(オープンイノベーション)の推進による新たな付加価値の創出」

③ 「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムや、とやまアルミコンソーシアム、とやまヘルスケアコンソーシアムのオープンイノベーションによる、研究開発プロジェクトの深化 …本文P31

(「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム)

・高付加価値医薬品の**実用化に向けた研究開発**や、医薬品生産の技術革新により**高品質で安定した供給生産体制**を目指すとともに、「くすりの富山」を支える**専門人材の育成**に取り組めます。



(とやまアルミコンソーシアム)

・本県でのアルミ関連産業の集積による**循環型アルミ産業網(アルミバリューチェーン)の次世代化**を目指し、様々な企業間連携によるシナジーと、**データ連携の基盤となるデジタルプラットフォームの構築**によって、国際的な産業構造の転換に対応します。



(とやまヘルスケアコンソーシアム)

・**医療機器製造業の登録など県内事業者のニーズに即したコーディネート活動を充実**させるとともに、とやま介護テクノロジー普及・推進センターや医療機関、介護事業所などとの連携と支援体制の強化を図り、とやまのヘルスケア産業を育成します。



ヘルスケア分野への進出を促進

改定の主なポイント

1. 「企業間・産学官連携(オープンイノベーション)の推進による新たな付加価値の創出」

④ スタートアップ支援・本文P35

- ・優れた技術力や新しいビジネスモデルでイノベーションを創出するスタートアップ企業が次々生まれる自立的な循環であるエコシステムの形成に向けて、**ロールモデルの創出や、産学官金によるネットワーク構築**等を支援します。
- ・**知的財産の保護と活用に関する関係機関と連携**した各種セミナーの開催や助言・指導など行います。



スポーツウィッグを開発する
スタートアップ企業

⑤ 大学、県立試験研究機関・産業支援機関における推進体制の強化・本文P35

- ・オープンイノベーションを推進するため、**(公財)富山県新世紀産業機構の機能強化、専門的知見を備えたコーディネータ人材の確保・育成**
- ・**県内高等教育機関(富山大学、富山県立大学、高等専門学校等)の産学連携機関における研究シーズのマッチング、製品開発に向けた県内企業への技術移転の促進**

改定の主なポイント

2. ものづくりを担う人材の育成・確保

① ものづくり産業の経営者・従業員のウェルビーイングの向上・本文P37

・経営者やマネジメント層を対象とした、「**ウェルビーイング経営**」の周知を図ります。

② デジタル・バイオ等の先端技術を活用できる高度技術人材の育成・確保・本文P37

・業務効率化や生産性向上を実現するための、**AIやRPAなど先端技術に関する学習機会の創出**に取組みます。

・企業の成長を牽引するイノベーション人材を創出するため、**若手技術者の研究指導、育成、交流を充実**します。



デジタル人材の育成
(技術専門学院)



若手技術者の交流

③ リスキング支援などを通じた職業能力開発の充実・本文P38

・人への投資の強化に向け、県内中小企業が生産性向上や成長分野へのチャレンジのために
行う**従業員のリスキングの取組みを支援**します。

④ 女性活躍の推進・本文P38

・進学・就職前の中高校生と県内企業で働く**女性管理職等との交流会の開催など、女子学生等のものづくり企業への就業を支援**します。

・職場・家庭などにおける**性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)への気づきと解消を促して**いきます。

例:「ものづくりと言えば、男性・理系」、「女性管理職は少ない」等



⑤ 外国人材の活用や多様な人材の確保・活躍の推進・本文P39

・富山県プロフェッショナル人材戦略本部を拠点として、**県内企業と大都市圏等の中核人材や副業・兼業人材とのマッチングを支援**します。

・外国人材活用支援デスクの運営等を通じて、**県内企業の高度外国人材等の受入れや定着を支援**します。



県内企業で働く外国人材(イメージ)

⑥ 就職期の若者等へのアプローチの強化・本文P39

・**学生に対して就職先としての県内企業の魅力を伝えるため**、新たな企業情報プラットフォーム「就活ラインとやま」による**県内企業の情報発信を強化**します。
併せて、**学生と県内企業が直接交流できる機会を提供**します。

みつかる、つながる、かなえる



⑦ 中高生及び大学生のものづくり職場体験等の機会充実・本文P39

・県内ものづくり企業の魅力や産業支援機関の役割について学ぶため、**産業界などと中高生の連携・交流を推進**します。



3. 産業集積を活かした成長産業の企業誘致、アジア等への海外展開等 への支援

① 成長分野の企業、本社機能・研究開発拠点等の誘致・・・本文P40

- ・優れた技術を持った**成長性の高い企業(グリーン、バイオ、半導体など)**を重点としたトップセールスによる**企業誘致**を推進します。



企業立地セミナー

② 販路開拓、ものづくり技術の発信・・・本文P40

- ・「**T-Messe**富山県ものづくり総合見本市」の**拡充**による取引活性化、ものづくり技術発信強化を図ります。



T-Messe

③ 県内企業のグローバルなビジネス展開や販路開拓の支援・・・本文P41

- ・**ビジネスサポートデスク**(バンコク、台北、ホーチミン、ハノイ)やJETROとの連携を通じた現地支援体制を**強化**します。



ビジネスサポートデスク

④ 物流の効率性への支援と安定性の確保・・・本文P41

- ・ものづくり企業の**物流効率化の取組みへの支援**のほか、ものづくり産業の**サプライチェーン**を支える**物流事業者の生産性の向上に資する取組みへ支援**します。

4. 中小・小規模企業に対する総合的支援

① 中小・小規模企業のDX、GX支援・・・本文P43

・富山県IoT推進コンソーシアムによるIoT等デジタル技術の最新動向や導入メリットを知る機会の創出、**DX戦略の策定や実証実験の実施に対する支援、企業交流による新たなネットワークづくりの場を創出**します。

・サプライチェーンでの競争力を維持・強化するために、**各業種における脱炭素経営のモデル企業を育成**します。



② 適切な価格転嫁の実現に向けた支援・・・本文P44

・県内企業全体の**価格転嫁に関する意識の向上**に取り組めます。

③ 技術等のある企業の事業承継支援・・・本文P44

・**M&A等を含む事業承継の理解促進、機運醸成**に向けたセミナーの開催に取り組めます。

④ 防災・減災対策のための事業継続支援・・・本文P44

・**事業継続力強化計画の策定や計画に基づく設備導入を支援**します。

⑤ 県と(公財)富山県新世紀産業機構が一体となった総合的支援・・・本文P44

・県内企業の保有する**独自の技術や知的財産等を活かした新事業創出支援**などを含めたディレクティング機能を強化します。

令和5年度
富山県事業承継
つなぐサポート
事業費補助金

こんな方に向けた補助制度です！

- ・事業承継に向けて、現状の課題や改善点も加え、必要な費用が心通で、及がが事業承継を進められる。
- ・事業承継を検討している県内企業を視察したい。

支援が得てきた貴重な技術や経営資源を後世に引き継ぐ後押しします！

●対象要件

| | |
|-------------|---|
| 補助対象者 | ①県内の事業所を営む(中小企業者) ②県内の事業を承継することを移している後継者候補 |
| 事業区分・補助対象経費 | ③事業承継事業(親族内承継、親族外承継) ※親族内承継：親族が親の会社を、事業承継した後の確定費用、事業所賃貸や事務所の賃借、印刷費用、建設費等を費用。特 ※「富山県事業承継・引継ぎ支援センター」の支援を受けた事業において発生する経費が補助の対象となります。 |
| 補助率 | ④必要事業 県内中小企業への補助率(交通費、宿泊費) ※「富山県事業承継ネットワーク」構成機関の推薦が必要です。 |
| 補助上限額 | ⑤ 中小企業：2分の1以内 小規模企業：3分の2以内 ⑥一律2分の1以内 |
| 補助上限額 | ⑦ 50万円 ⑧ 20万円(上限額に達するまで申請回数無制限) |

戦略の目標（指標）案

県内製造業の付加価値額 出典：経済構造実態調査

現状 1兆4,380億円（2021） → 2026年目標（総合計画） 1兆7,000億円 → 2030年目標 1兆8,400億円

※総合計画の2021年中間目標1兆5,400億円

- 2018年に策定した県の総合計画では2021年中間目標を1兆5,400億円としていたが、現状（上記）は新型コロナウイルス感染症の流行などの影響により下回っている。
- 本戦略の推進により、総合計画の2026年目標1兆7,000億円を目指すとともに、その先においても総合計画の考え方である年2.0%程度の増加を続け、2030年目標を1兆8,400億円とする。

⑨産学官オープンイノベーションの共同研究の件数

サーキュラーエコノミーの推進など本戦略の趣旨を踏まえ、改定時に具体的数値を提示

- 「県試験研究機関において産学官で実施する成長産業4分野に関する共同研究件数」を考慮しており、目標値や各機関がターゲットとする分野について、各機関の事業計画等と合わせて検討する。